

I 類（畜産）専門試験

【例題 1】

乳熱に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 高産次の牛に比べて初産次の牛で発症することが多い。
2. 分娩直後よりも、泌乳最盛期に発症することが多い。
3. 反芻胃内に蓄積した乳酸が血中に移行して食欲不振となるのが主な症状であり、重篤な場合は死亡することがある。
4. 発症の主な要因は、泌乳開始時におけるカルシウムの吸収と排出のバランスが著しく崩れることにある。
5. 一般に行われている予防法は、分娩後に複数回、ビタミン D 剤を注射することである。

（正答：4）

I 類（畜産）専門試験

【例題 2】

牧草の品種に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. オーチャードグラスは、一年生のマメ科牧草であり、我が国では採草用と放牧用のいずれにも利用される寒地型牧草である。
2. イタリアンライグラスは、世界の温帯から亜熱帯まで広く分布する一～二年生のイネ科牧草であるが、生育が遅いため、我が国ではほとんど栽培されていない。
3. ローズグラスは、我が国における代表的なマメ科牧草であり、温暖な地域で広く栽培されている。
4. シロクローバは、環境適応性に優れたイネ科牧草であり、我が国で広く栽培されている。
5. チモシーは、耐寒性に優れた多年生のイネ科牧草であり、我が国では北海道における主要な草種となっている。

（正答：5）